

サービス・ニュース Service & News

新着図書コーナーを設置しました!
4月27日(土)から、2F図書総合カウンター前に、新着図書コーナーを作りました。ビジネス・スキルやアイデア、センスアップのヒントになりそうな新着の本が、これから毎週土曜日に並びます。お楽しみに!

データベース「ジャパン・ナレッジ」のiPad貸出を延長しました
昨年11月から開始した、データベース「ジャパンナレッジ(Japan Knowledge)」のiPadでのご提供は、ご利用いただいた皆様からの「継続してほしい」というご要望を受け、今年の10月までサービスを延長しました。事典や辞書が数多く収録されている知識探索データベースをご活用ください。

日比谷カレッジ報告(5月9日開催)
『アメリカンシェルフ開設記念講演会』
米国大使館広報文化交流部と千代田区で覚書が交わされた「アメリカンシェルフ」の開設を記念して講演会が行われました。平日の午後にもかかわらず、100名を超えるたくさんの方のご参加をいただきました。米国の図書館でのビジネス支援について、歴史や考え方の「コミュニケーションセンター」としての機能を写真や実例を挙げて説明してくださいました。わが国との相違点も多く、「日本ではなかなか聞けない話を聞くことができた」と大好評で、質疑応答も活発にされ、無事終了しました。

米国の図書館で平等さを実感したのは、「本の貸出カウンターに、州で一番偉い判事の前にホームレスが並んでいたこと。誰にでも開かれています」とマクグリッチ氏。

■講師:アンドレア・マクグリッチ氏
(米国大使館 広報・文化交流部 情報資料担当)

ミシガンやオハイオなどの州では、図書館予算に財産税の何%を充てるのか、住民投票により決める「ミレッジ」というユニークな制度が導入されているとの話も。

わたしの一冊
おすすめする人 吉田修一 著
『パークライフ』
当館スタッフの推薦本を紹介します。

春風が舞い、桜のつぼみが色づき始める日比谷公園。「ぼく」は、心字池のほとりの、崖上のベンチでとある女性と再会する。大噴水、イチョウ並木、健康広場、自由の鐘など、園内の細かい描写の中、スターバックスのコーヒーマシンの片手に、「ぼく」は語り合う。何かが始まりそう、まだ始まらない。何も始まりはしないのかもしれない。淡く美しい余韻を残したまま、小説は幕を閉じる。見知った場所が出てくるので、日比谷公園をよく利用する者としては嬉しい一冊です。

ZONE pick up! Purple zone

2階パープルゾーン
＜江戸・東京の本＞を集めた図書フロア

日比谷の歴史を感じる3つの展示

1.「日比谷図書館の歴史」コーナーを作りました

1908年に開館して以来、東京市立図書館として、また東京都立図書館として多くの人に愛されてきた日比谷図書館。その歴史を紹介するコーナーを作りました。開館から現在までを一望できる年表パネルや、かつての利用統計、広報誌などを集めています。

寄贈のお願い

日比谷図書館について、もっと知っていただくために、今後も様々な関連資料を集めたいと考えています。ご寄贈いただける資料がございましたら、当館までご連絡ください。
●お問い合わせ: 図書フロア 電話(03-3502-3343)

2.常設展示「太田道灌」コーナー完成!

江戸城を造った中世の武将、太田道灌に関連した資料のコーナーが完成しました。江戸繁栄の基礎を作った名将の偉業やその人生に触れてみてください。

3.日比谷公園 開園110周年記念展示

6月1日、2日に公園内で盛大に行われるイベントに関連して、日比谷公園にまつわる本を展示します。明治維新後の開園当時の地図や、現在の憩いの場としての公園の雰囲気など、多くの人々が関わってきた公園の姿を書架の中から探してみても?

現在行っている展示 (5/24~6/25)

2F オレンジゾーン
〈毎日注目!〉
『UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ棚-』
日々変化する政治、経済、法律、社会について、関心の高いテーマを取り上げ、随時アップデートしていく展示です。
■ビジネス情報コーナー中央展示▶『100周年企業』
■『アメリカンシェルフ』米国のビジネス情報を調べるなら、ここへ!

3F グリーンゾーン
〈メイン展示〉
『「黄金比」~数が世界をつくった~』
自然界から人工物にまで多く存在する黄金比。数に秘められた美とミステリーを探求しませんか?
■日比谷カレッジ連動展示▶『グリーン・イノベーション~環境と持続可能な社会の実現に向けて~』

3F ブルーゾーン
〈イチオシ〉『日本の特撮・撮影技術』
世界に誇る日本の撮影技術。懐かしのヒーローから、世界最高水準の撮影技術に関する本を紹介します。
■セクション展示▶『山に登ろう』

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

本との贅沢な時間を過ごす
都会のオアシス



特別研究室 貴重な古書の宝庫
千代田が誇る「2万冊」

特別研究席 ビジネスや研究のための快適空間
思考が深まる「32席」

内田嘉吉文庫や江戸東京の古文書など、千代田区の貴重なコレクション約2万冊を“直に”手にとって閲覧できます。内田嘉吉文庫は明治・大正期に通信次官、台湾総督等を歴任した内田嘉吉氏が国内外で収集した蔵書。様々なジャンルを網羅しており、現代の政治、産業、国際関係等について考えるためのヒントがたくさん詰まった、まさに時代を超えた「教養」の宝庫です。

当館で一番眺めの良い空間の特別研究席は、全32席に電源コンセントと無線・有線LANを備えるほか、特別研究室の2万冊を自由に閲覧できます。貴重な本の傍で仕事や勉強、創造活動に没頭できる快適なスタディールームとして、ビジネスパーソンに人気です。
■利用時間: 平日・土曜10時~18時 日曜・祝日10時~16時
■利用料金: 2時間枠ごと300円 終日利用1200円



「挿絵で楽しむ内田嘉吉文庫 第2部:近代篇」
ヨーロッパの人々を魅了した美しいアジアと日本
開催中~6月23日(日)

内田嘉吉文庫の中から、美しい挿絵の入った本を時代別に紹介する企画展示。第2部では、19世紀アジアの風土に関する本と挿絵、開国した日本を訪れた西洋人が描いた挿絵を紹介します。

展示解説セミナー
「西洋人が描いた幕末日本」
特別研究室ナビゲーターが展示中の本についてわかりやすく解説します。

- 日時:6月13日(木)18:30~20:00
- 定員:20名(先着順)
- 参加費:500円
- 会場:4階セミナールームA(会議室)
- お問い合わせ:特別研究室 電話(03-3502-3340)

calendar 開館時間:平日10時~22時、土曜10時~19時、日祝10時~17時、休館日

2013年 6月							2013年 7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23/30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			

■お問い合わせ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

access

東京メトロ
●千代田線
●日比谷線
●丸ノ内線
「霞ヶ関」徒歩5分
JR「新橋」徒歩10分
都営地下鉄
●三田線
●内幸町 徒歩3分

駐車場
当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

6・7月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

6/1 (土) ひびや落語会@ライブラリー 噺 -貳-

出演：柳家さん生、柳家甚語楼

4月から始まった日比谷の本格落語会。今回は、初夏の江戸情緒、風情を笑って泣いて感じてみませんか。柳家さん生、柳家甚語楼、二人の師匠を迎えてお届けします。落語ファンの方はもちろん、はじめての落語体験も日比谷で決まりです！（主催：DNA／協力：ジグノシステムジャパン）

- 日時：6月1日(土) 14:00～16:00(13:30より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■ 木戸銭：前売2000円／当日 2500円
- ※前売り券はチケットぴあ、e-プラスほかで発売中。当館1階受付でも取り扱い中。



柳家さん生

柳家甚語楼

6/1 (土) シリーズ書物美の世界<第3回> 「画家のブックデザイン—装丁と装画の醍醐味」

講師：小林 真理
(日本図書設計家協会副会長・理事、デザイン制作会社「スタルカ」主宰)

明治から現代までの著名な日本人画家の美装本を取り上げ、日本が世界に誇る伝統技術である木版印刷や製紙・製本技術も紹介し、造本文化を振り返ります。電子書籍に圧されて紙の本の居場所がなくなる時代は来るのでしょうか？ 答えは講座にてのお楽しみに。

- 日時：6月1日(土) 14:00～15:30(13:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：60名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。



6/3 (月) ほか 2013年ヴェルディ生誕200年記念 日比谷オペラ塾「ヴェルディとの絆」(全4回) 第1回「ヴェルディ、その生涯と業績」

講師：加藤 浩子 (音楽評論家)

イタリア・オペラの巨匠ヴェルディは、音楽界のみならず当時のイタリアの社会状況にも大きな影響を及ぼしました。その作曲家の魅力をより深く知るために、各分野の研究者を講師に招き、連続講演会を開催します。(主催：フェニーチェ劇場友の会)

- 日時：6月3日(月) 19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名
 - 参加費：4000円(4回分)、各回1500円
- <第2・3・4回予告>
6月11日(火)「ヴェルディは、なぜシェイクスピアを愛したか？」
高橋 宣也(英文学者・慶應義塾大学准教授)
6月20日(木)「ヴェルディとフェニーチェ劇場—「椿姫」「リゴレット」を生んだ劇場—」
石戸谷 結子(音楽ジャーナリスト)
6月28日(金)「ヴェルディとイタリア・ナショナリズム」
片山 杜秀(音楽評論家・慶應義塾大学教授)

6/5 (水) ほか 「ウェブ的思考のプロへ—価値をうむビジネスパーソンになる—」

講師：小林 弘人 (実業家・㈱インフォバーン代表取締役 CEO)

毎日使っているインターネット・・・あなたは本当に使えていますか？ 目指すは、バーチャルを武器にリアルで価値をうむビジネスパーソン。成功している会社はウェブを武器に、ウェブビジネス界を牽引してきた小林弘人から学びたい。定員に達した為、受付を終了しました。

- 日時：6月5日(水) 第1回 ウェブ的思考の基礎を学ぶ(ディスカッション含む)
 - 6月19日(水) 第2回 ウェブ的思考の実践を学ぶ(ディスカッション含む)
 - 6月26日(水) 第3回 ウェブ的思考訓練(ワークショップ形式)
- いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：40名 ■ 参加費：4000円(3回分)

教えて！ 図書館用語【ブックトラック(ぶつくとらっく)】図書館内で資料を運ぶために使用する、キャスター付きの台車。「ブットラ」と省略することもある。日比谷図書文化館では主にスチール製の2段が3段のブックトラックを使っています。運搬だけでなく、返却本の一時的置き場やリサイクル資料を提供する時などにも活躍します。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

6/8 (土) フィンランド オルタナティブ アニメーション展 [Anxiety-Relief 不安と開放] 開催記念イベント 「フィンランドと日本のアニメーション考—現代アートの視点から—」

講師：木下 小夜子 (広島国際アニメーションフェスティバルディレクター)
キンモ・ヴァリマキ (フィンランドフィルムコンタクト協会 プロデューサー)

フィンランドと日本のアニメーションは監督、作家主導なのか？ それとも、商業ビジュアルが先行しているのか？ などを相互の国のアニメーション専門家が対談します。6/10-7/4開催の1階特別展示室展覧会の作品解説も行います。(逐次通訳有)

- 日時：6月8日(土) 10:30～12:00(10:15より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■ 参加費：500円(中学生以下無料)
- ※中学生の方は、当日、学生証をお持ち下さい。



6/13 (木) 展覧会への入口講座vol.3 東京ステーションギャラリー × 日比谷図書文化館 「印象派—フランス、ベルギー、日本」

講師：富田 章 (東京ステーションギャラリー館長)

フランスで始まった印象派の運動は、ヨーロッパ各国、そしてアメリカや日本にも広まっていきます。なぜ印象派はそれほど大きな国際的影響力を持っていたのでしょうか。この講座では、東京ステーションギャラリーで開催される「エミール・クラウスとベルギーの印象派」展の出品作を手がかりに、印象派の全体像とその魅力をさまざまな視点から分析し、印象派の展覧会をより楽しむためのポイントについて解説します。

- 日時：6月13日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：60名
 - 参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。



エミール・クラウス「野の少女たち」1892年頃 個人蔵 photo:Hugo Maertens

6/15 (土) ピースビレッジ第14回 「中国経済の発展性と問題点、今後の日中関係」

講師：石井 良宗 (株式会社NTTドコモ国際事業部担当部長)

経済発展で世界的に台頭する中国。今後とも内需拡大で成長を維持しそうですが、一方で大気汚染、地方の不良債権増加や大型国有企業への集中、年金や医療保険の未整備、農村戸籍問題、少子高齢化など問題・課題も多くあります。これらをわかりやすく解説し、日中関係の今後についても考えていきます。(主催：世界連邦21世紀フォーラム)

- 日時：6月15日(土) 14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：3000円



6/21 (金) iPadでも学ぶデータベース講座 「iJAMP 行政情報検索セミナー」

講師：関根 清一 (時事通信社 事業局事業部 専任部長)

iPadやノートパソコンを使いながら、当館のデータベースの使い方を学ぶ講座。今回は中央省庁や地方自治体などの行政情報を調べるための時事通信社のデータベース「iJAMP (アイジャンプ)」の特徴と操作方法とをレクチャーします。

- 日時：6月21日(金) 18:30～19:30(18:00より受付)
- 会場：3階 ライブラリープラス・3F ■ 定員：10名 ■ 参加費：無料

6/25 (火) 古書で紐解く近現代史セミナー第1回 「江戸名所図会と明治に残る江戸の面影」

講師：水谷 剛、河合 伸宏 (特別研究室ナビゲーター)

日比谷図書文化館の特別研究室では、内田嘉吉文庫のほか、江戸・東京に関する貴重な資料を手にとることができます。本セミナーの初回は、『江戸名所図会』など江戸の町を伝える貴重資料の数々をご紹介しますとともに、明治期の資料から、明治・東京に残る「江戸」の面影についてご紹介します。

- 日時：6月25日(火) 19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：40名 ■ 参加費：500円(千代田区民は無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。



南明館「東京名所図会 神田区の都上巻」特別研究室蔵

6/27 (木) トップアスリートの挑戦(全3回) 第1回「走りながら考える」

講師：為末 大 (元プロ陸上選手)、吉井 妙子 (ジャーナリスト)

挫折や限界を乗り越え、挑戦を続けるトップアスリートのお話から、人生の生き方を学ぶ3回講座。第1回は男子400mハードルの日本記録保持者である、為末大氏をお招きし、「スポーツを通じて社会に貢献したい」と語るご自身の活動や思い、今後の目標について伺います。(主催：上廣倫理財団)

- 日時：6月27日(木) 18:30～19:50(18:00より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。
<第2回予告>7月25日(木)「短所を武器とせよ」
竹下 佳江(元全日本女子バレーボール代表・プロバレーボール選手)



©Katsumi Kosakai

7/5 (金) 千代田区民講座 「翔べ翔べ蜚 ～ホタルさんとともに生きる～」

講師：阿部 宣男 (板橋区ホタル生環境館 館長)

日本の豊かな自然環境の象徴のひとつであり、幻想的な光で古くから日本人の心を魅了しているホタル。難しいといわれる完全飼育に成功した再生の第一人者であり、愛するホタルとともに生きてこられた阿部宣男氏は、ホタル育成の指導者として全国各地でホタル再生を手掛けています。これまでの再生の取り組みや、今後の展開についてお話しいただきます。(主催：NPO法人 神田雑学大学)

- 日時：7月5日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料
- ※6月5日から千代田区民先行受付開始。区民以外は6月12日から受付開始。

7/9 (火) ほか デキるグローバルビジネスパーソンになるための財務塾2013 「ファイナンスに過度に期待するのはやめよう！」

講師：手島 直樹 (経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)

第1回目は成長の実現のためにクロスボーダーM&Aに取り組む企業が増えている中、それに取り組んだ日本企業の現状と成功要因について、第2回目は企業価値創造の必要性が叫ばれる中、それを経営に取り入れる企業のメリット、デメリットについて考えます。

- 日時：7月9日(火) 第1回「M&Aは価値を創造するのかわる」
 - 7月23日(火) 第2回「企業価値評価のプロセス」
- いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：40名 ■ 参加費：3000円(2回分)



7/19 (金) 日比谷コトづくり塾<第2回> 「公共サービスと民間ビジネスの連携」～行政が抱える課題と解決策としての民間の連携～

講師：稲継 裕昭 (早稲田大学政治経済学術院教授、大津市他1名)

公・民が連携して地域を変える最新情報を発信する「日比谷コトづくり塾」第2回は、早稲田大学政治経済学術院の稲継裕昭教授、民間力による市街地活性化を成功させた大津市の講演。他、公・民連携実態調査報告等、公民連携まちづくりについて考えていきます。(主催：一般社団法人日本経営協会)

- 日時：7月19日(金) 13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：5250円

7/19 (金) ほか サステナブルビジネスプロジェクト開講 「グリーン経済 入門編」

講師：多田 博之 (ジャパン フォー サステナビリティ理事長・元国連グローバルコンパクト ジャパンネットワーク運営委員会委員長)

ナビゲーター：服部 徹 (社)CEPAジャパン理事・東北大学大学院環境科学研究所所属)

「環境」「グリーン経済」「持続可能性」が鍵となるこれからの社会に必要な、新たな経営戦略やイノベーションのための講座を開講します。入門編は、世界のキーパーソンたちの未来予測が盛り込まれた話題の書『2052』(日経BP社)を参考に、40年後の未来をワークショップ形式で読み解きます。

- 日時：7月19日(金) 第1回「日本の未来」
 - 8月23日(金) 第2回「世界の未来」
- ともに19:00～ 21:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：40名 ■ 参加費：3800円(2回分)



推奨図書『2052-今後40年のグローバル予測』(日経BP社,2013)

古文書塾 てらこや発！江戸文化特別講座

日比谷カレッジ「古文書塾てらこや」の多彩な講師陣による特別講座を開講いたします。江戸時代を中心とした資・史料、伝書、手紙などを用いながら、具体的に歴史の真実に迫ります。各講座とも3ヶ月で全5回の講座を実施します。

- 「文人画と碑文-掛軸を読む」(全5回)
 - 日時：7月8日(月)～ 18:30～20:00

くずし字と漢詩文の両方を学びながら、豊饒な文人世界を読み解きます。
 - 「大久保利通の手紙を読む」(全5回)
 - 日時：7月2日(火)～ 19:00～20:30

手紙・建白書を通じて、大久保の軌跡を具体的に深く理解します。
 - 「絵画・図像で近世を読む」(全5回)
 - 日時：7月3日(水)～ 19:00～20:30

図像史料を読み解きながら、信長・秀吉・家康らの活動や近世の真相に迫ります。
 - 「香道を伝本で楽しむ」(全5回)
 - 日時：7月4日(木)～ 13:30～15:00

香道伝書の解説を通して香道の奥深い世界を体験します。
 - 「絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)」(全5回)
 - 日時：7月6日(土)～ 10:30～12:00

初演時の番付(プログラム)などを読み解きながら江戸歌舞伎を楽しんで頂きます。
- 会場：4階 セミナールームA、B(会議室)
 - 定員：20名 ■ 参加費：各講座共13,650円＋資料代500円(5回分)
 - 申込み：電話(03-3502-3340)

コンシェルジュより From Concierge

日比谷公園は明治36年(1903年)6月1日に日本初の西洋式公園として開園し、今年で110周年を迎えます。四季折々の花々を咲かせ緑にあふれる日比谷公園は、オフィス街に囲まれているのを忘れさせる、今も昔も訪れる人たちにとって憩いの場所ではないでしょうか。S字型の大園路、小音楽堂、第一花壇などは開園した当時の面影が残ります。記念すべき110年目の6月1日と2日には公園内の様々な場所で記念のイベントが行われます。日比谷図書文化館も公園内に建つ施設の1つとして、110年の歴史と公園の魅力をお伝えする関連展示を行っています。



- ◆1階 ショップ&カフェ前 ミニ写真展「日比谷公園の四季」
 - ◆2階 図書フロア パープルゾーン 「日比谷公園110周年関連展示」
- いずれも6月16日(日)まで
- 受け継がれてきた都会のオアシスにぜひお立ち寄りください。お待ちしております。